

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 防疫対策強化支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内 2886)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,139 千円 (前年度予算額：0 千円)

R2.3 補 17,664 千円

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,139	0	0	0	0	0	0	0	2,139
決定額	2,139	0	0	0	0	0	0	0	2,139

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和2年11月5日に香川県の養鶏農場にて高病原性鳥インフルエンザ(今季1例目)が発生して以降、全国の養鶏農場にて相次いで発生が確認されている。
- ・令和3年1月2日には、美濃加茂市内の養鶏農場において発生し、防疫措置を行ったところであり、いつ岐阜県内にまん延してもおかしくない状況にあることから、予防対策の一層の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・高病原性鳥インフルエンザの予防対策として、次の事業を実施する。

① 養鶏農場における一斉消毒の実施

県内の養鶏農場に対して流行期前(11月)に消石灰を配付し、農場の一斉消毒を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	2,139	消石灰の購入
合計	2,139	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略 (R1~5)
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・ 新「ぎふ農業・農村基本計画」 (R3~7)
 - (2) 安心で身近な「ぎふの食」づくり
 - ④ 家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
養鶏農場における緊急消毒を実施することにより、県内における高病原性鳥インフルエンザの予防対策を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
消石灰配付による一 斉消毒の実施農場数	(H)	(H)	(H)	(H)	130 農場 (R3)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・高病原性鳥インフルエンザの予防対策として、次の事業を実施した。
 - ① 飼養衛生管理基準（緊急点検項目）の遵守を再徹底
 - ② 養鶏農場における緊急消毒の実施
 - ③ 養鶏農場へのウイルスの侵入防止対策の強化
 - ④ 初動・防疫体制の確立
 - ⑤ ため池等の周辺道路の緊急消毒
 - ⑥ ため池を介したウイルス拡散の防止

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
養鶏農場における緊急消毒やウイルス侵入防止対策等の実施により、県内における高病原性鳥インフルエンザの予防対策を強化することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	令和2年度には全国の養鶏場で相次いで高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、予防対策の強化を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	流行前（11月）の養鶏農場が一斉に消毒を実施することにより、発生予防意識の向上につながる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各家畜保健衛生所単位で消石灰を調達することで、コストの削減が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県が配付する消石灰や防疫資材だけでなく、農場の自主的かつ継続的な取り組みが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各農場において、飼養衛生管理基準の遵守・徹底がされるよう、引き続き指導等を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	